

# 令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【太田小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 国語においては文章の構成、算数においては四則演算、グラフの読み取りなど他教科にも関わる学習内容に課題がある。 <指導上の課題> これらの領域の学習内容を身に付けるためのが学力向上タイム等の活用	⇒ 学習の様子によっては、前学年の内容をふり返ることも視野に入れるなどの学習活動の工夫をする。学習が苦手な児童の学習が定着できるように支援、声かけを通年を通して取り組む。基礎学力向上タイムを効果的に進めるよう内容、学習形態の計画をする。【月に1度】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 何のためにこの勉強をするのかという学習めあてを意識した振り返りを適切に行う。 <指導上の課題> 学習者が常に学習のめあてを念頭におきながら学ぶことができるような授業を進めるための授業研究	⇒ 思考が単純なもので留まらないよう、学習中にもめあてに振り替えるような声をかけることで思考を深める経験を学習の中で積み重ねる。また、それらを踏まえた振り返りの時間を設ける。【毎時間3分程度実施】 市教委の研修における教職員研修の活用【7月下旬】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)